

平成28年度 鳥取県認知症介護実践者研修カリキュラムの概要

施設、在宅に関わらず認知症の原因になる疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得できる。

	教科名	時間	目的	内容	講師名
〔1日目〕	開講式 オリエンテーション	30分	・研修の概要を知り、心構えと受講の方向性を明確にする。 ・研修の目的、目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解する。	・研修概要の提示(実践者の研修全体) ・研修の目的・ねらいの明確化 ・研修中の心構えと留意点の説明 ・スタッフ紹介 ・資料確認	西部会場：松尾弘之 東部会場：福永貴祐 中部会場①：西村敏生 中部会場②：崎上麻衣子
	認知症ケアの基本的視点と理念	180分	・高齢者施策における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築をうながす。	・認知症ケアの歴史の変遷の理解 ・わが国の高齢者施策 ・認知症ケア研修の位置づけ ・これからの認知症ケアの方向性 ・認知症ケアの理念の構築	介護老人福祉施設 ル・ソラリオン名和 石川裕子
	認知症ケアの倫理	60分	・認知症ケアの倫理および倫理原則を理解し、日常的なケア場面での倫理的課題と本人や家族の意思決定や意思表示の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。	・認知症ケアの倫理の理念と理解のための基礎知識 ・倫理原則 ・日常ケアにおける倫理的諸問題 ・倫理的に適切なケアを求めて	グループホームいずみの苑 野島充子
	認知症の人の理解と対応	180分	・加齢に伴う健康上の変化、認知症の原因疾患、中核症状、心理的特徴を理解したうえで行動・心理症状(BPSD)の発生要因と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。	・加齢・老化に伴う疾患、若年性認知症 ・認知症の要因疾患 ・認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)	グループホーム仁風荘 一番館・二番館 松尾弘之
〔2日目〕	認知症の人の家族への支援方法	90分	・在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できるようにする	・家族介護者の理解 ・家族の心理と家族を支える方法	ケアハウスすこやか 坂口加奈江
	認知症の人の権利擁護	120分	・権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める	・権利擁護の基礎知識 ・権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 ・不適切なケアと権利侵害の防止 ・権利擁護のための具体的な取り組み	特別養護老人ホームなりすな 福永貴祐
	認知症の人とのコミュニケーションの理解と方法	120分	・認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身につける	・認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識 ・認知症の人とのコミュニケーションの場面と方法	介護老人保健施設 ル・サンテリオン東郷 崎上麻衣子
	認知症の人の生活環境づくり	120分	・住まいの様式など、認知症の人を取り巻く生活環境の調整の重要性を理解し、それに合わせた環境づくり、環境の問題を評価し、改善するための方法を修得する	・認知症の人と環境の基本的知識 ・環境の評価と改善のための具体的な取り組み	地域ケアセンター マグノリア 森本勤子
〔3日目〕	地域資源の理解とケアへの活用	180分	・地域社会や関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じ、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができるようにする	・地域包括ケアの理解 ・インフォーマル・フォーマルな地域資源の理解と活用 ・地域資源の活用方法の実際	地域ケアセンター マグノリア 森本勤子
	認知症の人への非薬物的介入	120分	・認知症の人への情動的側面や生活の質向上に一定の効果認められている非薬物的介入やアクティビティを中心に紹介し、生活の中で実施するうえでの具体的な方法や評価方法について理解を深める	・認知症の人にとってのアクティビティとは ・非薬物的介入の基本 ・非薬物的介入の実際 ・認知症の人に用いる種目の選定 ・認知症の人への介入の評価 ・評価の意義、評価スケール	介護老人保健施設仁風荘 林原豊
	認知症の人への介護技術Ⅰ (食事・入浴・排泄等)	180分	・食事・入浴などの基本的な生活場面において、中核症状からもたらされる生活の困難さについて、事例や生活場面ごとに中核症状の影響を分析し理解したうえで、望ましい対応が実践できるようにする	・認知症の人の生活障害 ・認知症の人への介護技術(食事・入浴・排泄ケア)	介護老人保健施設 ル・サンテリオン北条 西村 敏生
〔4日目〕	認知症の人への介護技術Ⅱ (行動・心理症状)	240分	・認知症の行動・心理症状(BPSD)への表面的対応ではなく、その背景を理解した上で、チームで生活の質が高められるような支援方法を修得する	・行動・心理症状(BPSD)の基本的理解 ・行動・心理症状(BPSD)への介護技術	介護老人保健施設 ル・サンテリオン北条 西村 敏生
	アセスメントとケアの実践の基本Ⅰ	240分	・認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状要因のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。	・アセスメントの基本的視点 ・ケアの実践のための基本的視点 ・アセスメントの手法に関する考え方	ケアプランセンターわたなべ 渡邊真由美
〔5日目〕	アセスメントとケアの実践の基本Ⅱ	240分	・アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するための「ケアの実践に関する計画」の作成・立案ができる。チームでケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。	・ケアの実践計画の作成基礎知識 ・ケアの実践計画作成の展開 ・ケアの実践計画の評価とカンファレンス	ケアプランセンターわたなべ 渡邊真由美
	自施設実習の課題設定	240分	・研修で学んだ内容を生かして、現状の認知症ケアを評価する。認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する。	・自己の研修課題と研修の成果に基づいた実習目標の設定 ・課題を解決するために、今自分に何ができるか具体的な方策を考える ・自施設実習(4週間)の行動計画を作成する	西部会場：森本勤子 東部会場：西村敏生 中部会場①：福永貴祐 中部会場②：森本勤子
〔6日目〕	自施設実習(アセスメントとケアの実践)	4週	・研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができること。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関するケアの実践が展開できる。	・実習課題に沿ったアセスメント、ケアの実施、モニタリング・評価	
	自施設実習評価	360分	・アセスメントや実施したケア実践計画の実施結果を整理し、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。	・アセスメント・実践計画の評価、分析 ・ケアの実践の報告	企画員